

令和3年度 年間授業計画

都立南平高等学校

学年 必・選	1 学年 必修	教科	公民	科目	倫理	単位数	2
教科書	高等学校 改訂版 倫理 (第一学習社)			使用教材	テオリア 最新 倫理資料集 新版初訂 (第一学習社)		
授業 担当者名							

		指導内容	指導目標	予定 時数
一 学 期	中間 考 査	第1章 青年期の課題 ①人間の特質と青年期 ②青年期の特徴と社会参加 第2章 源流思想 ①ギリシャ思想 ★ ・ソクラテス・プラトン・アリストテレス	・社会的に人間として生きるためには、身体的・精神的成長が必要であることを理解させる。 ・自分がいま青年期のただ中にあり、自己形成の課題を抱えていることを自覚させる。 ・古代ギリシャの思想を理解し、哲学の誕生について理解を深める。	1 2
	期 末 考 査	第2章 源流思想 ②キリスト教 ③イスラーム ④仏教 ⑤中国の思想 ・儒家と道家の思想	・様々な宗教を学ぶことで、人間にとって宗教とは何かを考え、他者や異文化への理解を深める。 ・古代中国思想を理解し、その日本思想への影響を考える。	1 6
二 学 期	中間 考 査	第3章 日本の思想 ①日本固有の思想 ②日本仏教の展開 ③日本儒教の展開 ④国学・庶民の思想 ⑤西洋思想との出会い	・日本固有の思想と外来思想がどのように融合し、日本に根付いていったのかを理解する。 ・日本人の根本精神を学ぶことで、自分自身のアイデンティティの確立を図る。	1 2
	期 末 考 査	第4章 西洋近代の思想 ①人間の尊厳 ②科学革命と自然観 ③社会契約説の思想 ④ドイツ観念論 ⑤イギリス功利主義	・西洋における人間観・自然観の変化をふまえ、西洋の近代思想について理解する。 ・道徳の根拠となる思想を学び、それをふまえて自らの道徳観を形成する。	1 8
三 学 期	学 年 末 考 査	第4章 西洋近代の思想 ⑥社会主義 ⑦実存主義 ⑧正義と社会	・社会主義、実存主義とはどのような思想かを理解する。 ・リベラリズム、リバタリアニズム、コミュニタリアニズムの比較を通して、社会的正義をいかに実現すべきかを考える。	1 2
	計			7 0

評価の 観点・方法	青年期の課題を自覚し、自分の在り方生き方を考える契機となるよう、思想・哲学・宗教について正しく理解し、自らの意見を形成することに主眼を置き、定期考査・個人ワーク・グループワーク・発表学習などへの取り組みを総合的に評価する。
--------------	---